



○7月14日（月）に、水の事故から身を守る方法を学ぶために、着衣水泳を行いました。子どもたちは真剣な表情で取り組み、自分の命を守る方法についてしっかり考えることができました。



○ラッコのように仰向けになって浮かぶ「ラッコ浮き」や、空のペットボトルを抱えて浮く練習も行いました。また、水の中にいる人を助けるときは、自分が飛び込まずに、ペットボトルに少量の水を入れて投げ、助ける方法も学びました。



あわてない！
まずは浮いて待とう！



○子どもたちは、実際に洋服を着て水の中に入る体験をし、命を守る方法について真剣に学ぶことができました。もうすぐ夏休みを迎えます。毎年、夏は水の事故が増える時期です。ご家庭でも水辺での過ごし方について話し合い、安全に気をつけて楽しい夏休みを過ごしていただければと思います。